

第23回広島県高校生英語スピーチ・レシテーションコンテスト レシテーション（暗唱）部門 優秀賞（2位） 坂本紬音さん

令和8年9月13日（日）に広島市で実施された上記の大会で、本校1年生 坂本紬音さん（久井中出身）が、広島県で2位にあたる優秀賞を獲得しました。日本初のファシリテードッグであるベイリーが、重病の子供患者に寄り添い病気に立ち向かう元気と勇気を与え続けたという感動的な内容を、イントネーションやジェスチャーをつけながら、聞き手を感動させることができるように、練習を重ねてきました。

その練習の成果が発揮され、今回の優秀賞受賞となりました。審査委員長を務められた広島大学 名誉教授の達川奎三先生から、坂本さんのパフォーマンスについて、「貴校の坂本紬音さんによる Bailey の物語は、とても分かり易く、しっとりとした発表でとても良かったです。英語の基礎力もしっかりしており、これから伸びる素材だなと感じました。」とのコメントをいただきました。



大会後に表彰状をもって、安堵の表情を浮かべる坂本さん

高校に入り、先生からスピーチコンテストに出てみないかとお声掛けいただき、頑張ってみようかな、私でも頑張れるかな、と出場を決意しました。今回、恐らく他の人より練習期間が短かったとは思いますが、できる限りの練習をしました。家族や先生方の手厚いサポートのおかげで、入賞できたと思っています。2位は、正直悔しいですが、よい経験になりました。県内他校の生徒の素敵なスピーチに触れることができ、刺激になりました。貴重な機会をくださり、ありがとうございました。